

あげお 議会だより



う〜ん 最後まで頑張っ!(鴨川小学校)

平成15年9月定例会日程

- 9月3日.....開会、議案の上程
提出議案の説明、監査報告
- 9月5日.....議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 9月8日.....総務、建設水道常任委員会
- 9月9日.....文教経済、福祉消防常任委員会
- 9月11日.....議案第81号の上程、委員長報告、討論、採決、一般質問
- 9月12日.....一般質問
- 9月16日.....一般質問
- 9月19日.....委員長報告、討論、採決、彩の国さいたま人づくり広域連合議会議員の選挙、議案第90号の上程、説明
- 9月20日.....議案第90号に対する質疑、討論、採決、議員提出議案の上程、討論、採決、閉会

●主な内容

- 市長の提案説明..... 2 ~ 3 P
- 委員会の主な審査内容・請願審査の中から... 3 ~ 5 P
- 今議会で決まった人事、討論、請願・陳情の審査結果..... 5 P
- 提出議案とその結果..... 6 P
- 市政に対する一般質問..... 7 ~ 11 P
- 委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと..... 12 P

9月定例会

斎場条例の制定・仮称平方分署建設にかかわる関連経費を含む補正予算など、議案26件を可決



エントランスホールの一部

待合廊下の一部

11月1日オープン予定の上尾伊奈斎場つつじ苑

9月定例会で審議した議案は、市長提出議案及び諮問が30件、議員提出議案6件の計36件で、決算認定議案の9件を除く27件のうち26件を原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申し1件を否決しました。

市長の提案説明から

上尾市一般会計補正予算

今回の補正については繰越財源が確保できたことや、普通交付税の決定などに伴ってそれぞれ事業費を追加して計上したほか、新たな施策経費や事業費を計上しました。その結果、補正額は10億2,670万8,000円となり、累計予算額は506億1,849万2,000円となりました。なお、この中には、極めて厳しい現下の経済情勢を踏まえ、市内小規模事業者の受注機会拡大を図るための景気対策事業費約9,300万円が含まれています。

主な歳出は、まず**総務事業**として、大石学童保育所を既存のものを撤去し、大石小学校内に新たに建設するための整備工事費を計上したほか、景気対策事業として庁

舎などの整備や交通安全施設整備のための工事費の増額を計上しました。

また、沼南駅前公衆トイレを設置し、駅利用者や地域の方々の利便性を高めるための関連経費を新たに計上しました。選挙費では、埼玉県知事選挙に関連しての参議院議員補欠選挙のための経費を計上しました。

福祉事業としては、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画を来年度に作成するために、市民ニーズに関する調査委託料を新たに計上したほか、景気対策事業として、各保育所の施設改修工事費や乳幼児相談センターの施設修繕料の増額などを計上しました。

衛生事業としては、生活排水処理を経済的観点も加え抜本的に見直すための基本計画策定の委託料を新たに計上しました。また、健康プラザわくわくランドでは、一



9月定例会市長の提案説明

日平均の入場者が当初予想を上回る好評を得ていて、そのため水の供給不足が生じ、その対応と快適性、衛生面を向上するため、給水管の口径変更のための関連経費を計上しました。また、斎場周辺の方々の利便性向上を図るため、瓦葺自治会館の建て替え事業にかかわる補助金を計上しました。

農林事業として、藤波・中分地区での集落水辺公園整備のための経費として、農村総合整備事業費の増額を計上しました。

土木事業としては、道路修繕や道路改良のための関連経費や排水路改良のための経費を増額計上したほか、景気対策事業として、橋りょう塗装工事費の増額を計上しました。また、小泉土地区画整理事業補助金と上平第三特定土地区画整理事業補助金の増額をそれぞれ計上しました。

消防事業としては、消火栓設置費や消火栓補修費の負担金の増額を計上したほか、仮称平方分署建設にかかわる関連経費を新たに計上しました。

教育事業としては、小学校の教育用パソコン借上げの更新にかかる経費を計上しました。一校当たり現行の22台から42台とするこ

とで、2人1台体制から1人1台体制とするものです。また、景気対策事業として、幼稚園、小学校、中学校のそれぞれで営繕工事費の増額を計上しました。

● 条例その他

上尾市が設置する火葬場及び葬儀式場の指定管理者に関する条例の制定については、地方自治法の一部改正に伴い、上尾市が設置する火葬場及び葬儀式場の指定管理者の指定の手続などを定めるものです。

上尾市斎場条例の制定については、火葬及び葬儀を行う施設として上尾市斎場を設置したいので、提案するものです。

市道路線の認定については、市目地内東西地下連絡道路整備事業の実施に伴う市道の認定や道路の用に供するものとして寄附を受けまたは市に帰属をした土地を市道として認定したいので、定めるところにより提案するものです。



公衆トイレが設置されるニューシャトル沼南駅

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された各議案などを審査しました。以下、一般会計補正予算や条例などの審査の過程で取り上げられた主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

健康プラザの水道管を敷設替え

補正予算
予算メモ 健康プラザわくわくランドの上水道給水管変更工事として630万3,000円を計上。

委員 水道管を現在の50ミリ管から100ミリ管への敷設替えをするとのことであるが、前回、深井戸の掘削予算を計上したが、なおかつ水が不足しているのか。

答 水道管の敷設替えは開所以来節水の努力をしてきたが、プールや風呂は絶えず水を供給して常に満水状態で使用するため、一度に多くの利用者がある場合、不足する場合もあるので口径100ミリ管にするものである。なお、深井戸の水は夏、冬一定の水温のためサウナの水風呂専用に使っている。

委員 入館者が多く大変好評と聞いているが、ロッカーやげた箱

など付帯設備の不足など、利用者に対しての対応は。

答 一度に800人を超えると入場制限をすることになり、その間は不便をかけるが2階のすこやかルームの部屋に案内をして順番に待っていたら、少しでも不便をかけないよう配慮しながら利用していただいている。

委員 関連で、衛生管理の問題はどのように対応しているのか。
答 委託業者が絶えず巡回してごみ掃除もしている。また、レジオネラ菌を含め水質検査を行っている。



入館者の多い健康プラザわくわくランド

条例制定
上尾市斎場条例を制定

上尾市斎場条例の制定については火葬及び葬儀を行う施設として上尾市斎場を設置するものです。

委員 11月1日オープンまでの準備期間が大変ひっ迫しているとのことであるが急ぐ理由は。

答 上尾市民は他市などの斎場を利用してため市外扱いとなり、その利用時間帯も早い時間帯が借りられないことが最近特に顕著になって来たので、早くオープンして市民にそのようなことがないよう利用していただきたいので11月1日を設定した。

委員 「上尾伊奈斎場つつじ苑」という名称が議案に出ているが名称選考委員会においてはどのような議論がなされたのか。

答 名称の選考については、市議会議員、伊奈町議員、上尾市長会連合会会長など9人で構成する委員会を設置した。また、名称は上尾市及び伊奈町の広報で募集したところ82点の応募があった。第1回目の選考委員会でその中から9点に絞り、第2回目の選考委員会で一人3点の無記名投票を行い、最多得票7票が「つつじ苑」であり、「上尾伊奈斎場」を含む上位4点を報告することとした。この選考委員会の付帯意見として、上尾と伊奈という地名をぜひ入れてほしいとの強い要望があったものも合わせて、6月25日に正副委員長から選考の経過及び結果報告を市長に行った上で決定した。

委員 上尾市が建設を進めている斎場の名称に「つつじ苑」を使わないことを求める陳情が出ているが、市とこの「つつじ苑」の皆さんの話し合いの経過を伺い

たい。

答 建築協定をしている地域の「つつじ苑」という名称が分かったのが7月で、その後建築協定関係の会議で理解を求めるための話をさせていただいた。その中で一部の住民の方からは、どうしても理解できないことから、市に持ち帰り再度協議して連絡することにした。その後名称は「上尾伊奈斎場つつじ苑」を一連の名称と見ているので、このまま名称は使わせていただきたいという話をした。

委員 設置が待たれていただけに良かったと思う。しかし、予定地については、卒業生たちによって自然を残そうという場所でもあると聞いている。その辺を配慮しながら学童の皆さんや学校側とも話し合いを持って、より良いものを作っていたきたい。



新築予定の大石学童保育所予定地(大石小学校内)

委員 陳情書を見ると、斎場建設反対ではなく、あくまでも呼称の問題である。やはり何らかの形で結論を出した方が良く考える。

総務常任委員会

大石学童保育所を

補正予算

新築

予算メモ 児童の増えている

委員 金額、助成金として入ってくるのことがその内容は。答 総務省が電子自治体、電子政府を早急に進めるため、地方自治情報センターを通じて、本年度テスタに参加する市町村については機器購入費を助成する。具体的には公的個人認証サービスを提供するための機器で、鍵生成装置、窓口用の端末、プリンター、ICカードリーダーライターの4点を購入するための経費である。

電子申請に向けた情報化を推進

予算メモ 平成14年12月に行政手続が画面だけでなくオンライン、インターネットで申請可能になる法律並びに電子署名によることが可能になる法律が公布された。それに伴い公的個人認証サービスを提供するための機器の購入費用として63万円を計上。

委員 全額、助成金として入ってくるのことがその内容は。答 総務省が電子自治体、電子政府を早急に進めるため、地方自治情報センターを通じて、本年度テスタに参加する市町村については機器購入費を助成する。具体的には公的個人認証サービスを提供するための機器で、鍵生成装置、窓口用の端末、プリンター、ICカードリーダーライターの4点を購入するための経費である。

建設水道常任委員会

ずずむき橋の修繕を実施

補正予算

予算メモ 鴨川に架かるずずむき橋の修繕料として350万円を計上。

委員 ずずむき橋の硬質ゴムパッキンの修繕とのことだが、どのような工事が。答 橋台のコンクリートと橋げたとの間に季節により伸縮するすき間があり、そこに硬質ゴムを入れて柔軟性を取ることでより振動音を解消するものである。だいぶ年数が経過し磨耗していて、交通量が多いために振動音が激しく、付近住民に迷惑をかけている状態である。

委員 個人情報などいろいろ心配されている。最低限、個人情報漏れいしないよう庁舎内の対策を十分配慮してほしい。



改修予定のずずむき橋

上尾道路に伴う横断地下道整備のための用地買収費を計上

予算メモ 志丁目地内の横断地下道路の用地買収費として9,930万6,000円を計上。

委員 志丁目横断地下道用地買収費についてと上尾道路周辺道路整備事業国負担金について、この関係はどうなっているのか。答 上尾道路をアンダーでくぐる部分の両側に3メートルの歩道がつくが、片側の3メートル(市

請願審査の中から

上尾市民の生活と安全を守るために埼玉県に意見書の提出を求める請願

この請願は株式会社サイサンテクノガスが平方領々家地内に液化ガス充てん施設の建設を進めている計画に対し、埼玉県に意見書の提出を求める内容で建設水道常任委員会において審査されました。

委員 安全性が問題になるが、液化石油ガス充てん所の設置許可は、あくまでも県の許認可になるのか。

答 高圧ガス保安法に基づく都道府県知事の許可である。

委員 住民の不安を払しょくするため住民との合意が必要であるが、話し合いが合意できる見込みはあるのか。

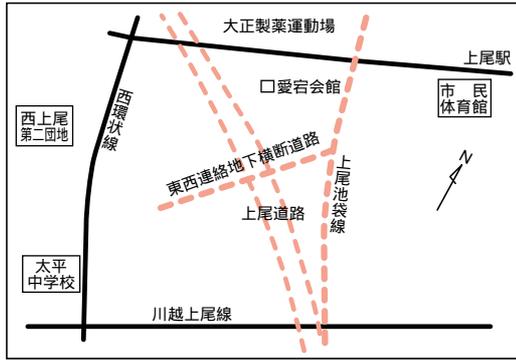
答 県としては、十分な話し合いをするように指導しているため、合意がなされてから認可があるというところで、地元と会社の話し合いの中で何か接点があるのではないかと理解している。

委員 地元との合意が何よりも必要であり、原点に戻りもう一回仕切り直して話し合いを持つことが大事である。

委員 請願者の趣旨は、地域住民を守りたいということであり賛意を表したい。

本請願は、全会一致で採択されました。

負担)については、将来のこの地域の道路網整備の中では重要たというところで、グレードアップ機能を持たせた道路(車道7メートルのうち2メートル分・市負担)で、地域の中で決定されたものである。この機能アップした部分は、国が代行買収できないということになり、上尾市が道路法に基づいて道路認定をした後、税務署と協議した後に用地買収をしようということと決定したものである。



福祉消防常任委員会

**次世代育成支援計画策定
に向けた調査料を計上**

予算メモ 次世代育成支援計画調査委託料として297万円を計上。これは平成15年7月に次世代育成支援法が制定され、急速な

少子化の進行を踏まえ次代の社会を担う子どもたちが健やかに育成される環境を整備するため平成17年から平成27年までの10年間の行動計画策定が市町村に義務づけられたために、対象者のニーズ調査を行うものです。

委員 計画策定に当たり国からの財政的裏づけはあるのか。

答 ニーズ調査や計画策定に当たっての国・県の補助制度はない。県によると地方交付税算定に含まれる。

**補正予算
(仮)平方分署建設
に向けて**



(仮)平方分署予定地を現地調査する福祉消防常任委員会

予算メモ (仮)平方分署用地(3,449.2平方メートル)買収費、用地の擁壁工事、造成工

事費として1億8,967万8,000円を計上。

委員 現地調査をしたが排水路の流末はどうなっているのか。

答 荒川の西野橋南側の西野樋管に流れる予定になっている。

委員 関連で流末処理に関して、消防が現場で劇薬処理などをしてそれを水で洗い流した場合の排水の危険性などについて対処しているのか。

答 劇薬処理をした水の処理については、現場に放置することなく200リットルのプラスチック製ドラム缶2本で持ち帰り、安全を確認後処理するようにしている。

今議会で決まった人事

教育委員会委員に

野本 昭代 氏

教育委員会委員 井上礼子氏の任期は、平成15年11月19日で満了となるため、後任として野本昭代氏を任命することについて同意を求められ全会一致で同意しました。

野本 昭代氏 / 62歳

住所は上尾市大字上1-11番地

人権擁護委員に

森久 昭子 氏

人権擁護委員 森久昭子氏の任期は、平成16年3月31日で満了となるため、同氏を再び推薦することについて意見を求められ全会一致で異議なき旨答申しました。

森久 昭子氏 / 68歳

住所は緑丘1丁目7番24号

反対討論 要旨

平成15年度一般会計補正予算(第3号)歳出2款総務費1項総務管理費1目一般管理費8節報償費説明7 訴訟事件弁護士報酬金117万6,000円について反対する。

この予算は6月議会でも提案されたダイヤモンド社からの著作権侵害による損害賠償請求による裁判上の和解金300万円にかかる弁護士報酬金である。本来ならば支払う必要のない経費であり、違法ともいえる無許諾による大量複製印刷代205万650円もかけて作成した事件である。

市民の血税をこのような本来あってはならない行為に対して予算を執行することは決して許すことはできないことであり、このような費用は事件当事者が支払うべきであり、到底市民が納得できないことである。

請願・陳情の結果

市民の皆さんから提出された請願・陳情は、委員会審査を経て9月19日の本会議で採決し2件を採択、1件を不採択としました。

採択された請願

上尾市文化都市宣言に関する請願

上尾市本町5丁目13番11号
代表者 上尾市文化団体連合会
会長 中村 卓氏 外3人
上尾市民の生活と安全を守るために埼玉県に意見書の提出を求めるとの請願

上尾市大字平方439番地
代表者 平方地区区長会 会長
上田 洋氏 外5、174人
不採択となった陳情
上尾市が建設を進めている斎場の名称に「つつじ苑」を使用しないことを求める陳情

上尾市向山277番地43
代表者 つつじ苑管理組合 会長
桑原 誠男氏 外243人

決算特別委員会を設置

議会では、委員8人で構成する決算特別委員会を設置し、平成14年度各会計歳入歳出決算認定議案9件を閉会中の継続審査としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は12月定例会で報告することとしました。

- 委員長 新木辰男(新政クラブ)
- 副委員長 森島岐代子(日本共産党)
- 委員 松崎真一(新政クラブ)
- 委員 堂前文義(未来の会)
- 委員 岡野喜一(未来の会)
- 委員 永吉 勇(公明党)
- 委員 本田哲夫(連合クラブ)
- 委員 大出武司(日本共産党)

平成15年9月定例会提出議案とその結果

市長提出議案（29件）

=賛成 × =反対 =退席

議案番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
議案第62号	平成14年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第63号	平成14年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第64号	平成14年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第65号	平成14年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第66号	平成14年度上尾市水洗便所改造資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第67号	平成14年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第68号	平成14年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第69号	平成14年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第70号	平成14年度上尾市水道事業会計決算の認定について	継続審査					
議案第71号	平成15年度上尾市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	×				
議案第72号	平成15年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第73号	平成15年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第74号	平成15年度上尾市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第75号	平成15年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決					
議案第76号	平成15年度上尾市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決					
議案第77号	市議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第78号	上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第79号	上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第80号	上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第81号	上尾市が設置する火葬場及び葬儀式場の指定管理者に関する条例の制定について	原案可決					
議案第82号	上尾市斎場条例の制定について	原案可決					
議案第83号	上尾市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決					
議案第84号	専決処分の承認を求めることについて 平成15年度一般会計補正予算(第2号)	原案承認					
議案第85号	桶川市の公の施設の利用に関する協議について	原案可決					
議案第86号	市道路線の認定について 大字壱丁目地内1路線	原案可決					
議案第87号	市道路線の認定について 富士見、中妻地内など11路線	原案可決					
議案第88号	市道路線の廃止について 大字瓦葺地内3路線	原案可決					
議案第89号	教育委員会委員の任命について 野本昭代氏	原案同意					
議案第90号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決					

諮問（1件）

諮問番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて 森久昭子氏	異議なき旨答申					

議員提出議案（6件）

議案番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
議第21号議案	上尾市政治倫理条例の制定について	原案否決		×		×	×
議第22号議案	犯罪防止のための治安対策の強化を求める意見書	原案可決					
議第23号議案	高額療養費の返還（償還）制度の改善を求める意見書	原案可決					
議第24号議案	携帯電話の利便性の向上と料金引き下げを求める意見書	原案可決	×				
議第25号議案	埼玉県68歳、69歳対象の医療費助成制度の存続を求める意見書	原案可決	×				
議第26号議案	サイサンLPガス充てん基地建設に関する意見書	原案可決					

請願（2件）

請願番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
請願第37号	上尾市文化都市宣言に関する請願	採 択					
請願第38号	上尾市民の生活と安全を守るために埼玉県に意見書の提出を求める請願	採 択					

陳情（1件）

陳情番号	件名	議決結果	未来	新政	共産	連合	公明
陳情第13号	上尾市が建設を進めている斎場の名称に「つつじ苑」を使用しないことを求める陳情	不 採 択	×	×		×	×

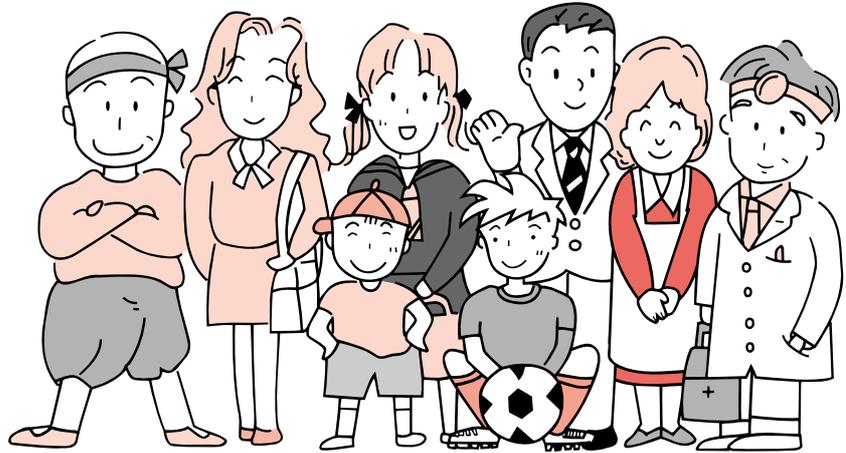
市政に対する 一般質問

ここが問題、 そこが聞きたい

9月定例会の一般質問は、9月11・12・16日の3日間行われ、17人の議員が登壇し、市政全般53項目にわたって市当局の見解を求めました。

また、この3日間で135人の皆さんが議会を傍聴しました。

一般質問の主な内容は次のとおりです。



行財政一般

自立都市上尾の今後の行政運営は

問 郷土上尾市を見渡し、随分と良いまちになったと常々感じている。しかし、まだ市のまちづくりは完成しているとは思わない。そこで、市のリーダーである市長として時代のすう勢、さらには自治体を取り巻く環境の変化にかんがみながら、自立都市上尾として今後どのような運営をしていくのか伺いたい。

答 市制施行45周年の上尾市は人間に例えると働き盛りの壮年期を迎え、子育て支援センターを併設した保育所の開所や、全国に先駆け実施した小学校低学年の30人学級など福祉、教育に重点をおいており、斎場の完成によ



市庁舎1階市民ホール

って市民生活に欠かすことのできない公共施設はほぼ整備することができたと考えている。今後は、さらに開かれた市政を目指し、西側の児童館建設に際しては三二公募債（住民参加型の少額の公募地方債）の発行も視野に入れるなど、市民が行政に参加しやすい土壌をつくり定着させ、市民、議会、行政が一体となった行政運営に取り組んでいきたいと考えている。

上尾市の将来都市像は

問 地方自治体の格付に政令指定都市・中核市・特例市と区分けがあるが、少なくとも自治体としての一定の要件を満たせば国や県の権限が移譲され、市民サービスの向上に結びつくと考え。そこで議会や市民と一体となつて上尾市の将来の都市像を今から検討し、市民に示すべきと思う。

答 第4次上尾市総合計画の後期基本計画について来年度から検討を開始し、その過程において都市づくり、まちづくりに関する新たな課題を市民の積極的な参画を得て明らかにしていきたいと考えている。
また近隣自治体との合併問題に

9月
定例会の

一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

田中 元三郎

災害時対策

中心市街地対策

幼保一元化

矢部 勝巳

環境教育

不法投棄の防止

文化都市上尾の創造

区画整理地内への信号機の設置

松崎 真一

市長の持つ上尾市の将来展望

望

上尾道路

本田 哲夫

「土砂等のたい積の規制に関する条例」の制定の効果

「政令指定都市」・「特例市」・「中核市」等を指すまちづくり

糟谷 珠紀

30人学級を全学年で実施を

「ぐるっとくん」のさらなる充実を求めて

深刻な若者の就職難への支援を

西村 テル子

市民税・固定資産税の同和特別減税の廃止を

原市地域のまちづくり

埼玉県の68歳、69歳対象の医療費助成制度の存続を

ついでには、近隣市町の意向、動向を踏まえ上尾市として将来の都市像を考え、主体性を持ったまちづくりができるのであれば、積極的に議論や研究をすべきであると考えている。

犯罪の防止対策は

問 わが国の刑法犯の発生件数は平成8年以降連続して戦後のワースト記録を更新し、刑罰の対象とならない14歳未満の凶悪事件も増加している。このような犯罪防止のために、市が地域の方と一緒に防止対策を実施することやピッキング防止策の補助金制度を設置することで市民の防犯意識を高めることができるかと考えるが市の考えを伺いたい。

答 市では、犯罪を少しでも未然に防ぐために、上尾警察署と上尾防犯協会から委嘱されている地域防犯推進員などと連絡を密に連携を取りながら地域の身近なところで発生する事件・事故の未然防止活動を進めている。その中の主な活動は夏休み、夏祭り、夜間などの防犯パトロールなどを行うほか、支部によつては活動報告ニュースを発行して地域の皆さんにお知らせしている。

今後はより多くの市民に犯罪防止のため防犯教室などを通して啓

発をしていきたい。また、ピッキング防止策の補助金制度については、先進市や近隣市町村の動向を確認し、今後検討していきたい。

都市整備

鴨川の水害に対する今後の防止対策は



早期の水害解消が望まれる鴨川

問 これから台風シーズンを迎え鴨川流域に居住している方々の水害に対する心配、不安な気持ちを早期に解消していく必要がある。

鴨川は時間当たり44ミリ対応の暫定改修は終わっているとのことであるが、今後の河川維持管理について伺いたい。

答 鴨川を管理している埼玉県北本県土整備事務所によ

ると、現在の改修状況は1時間当たり44ミリの降雨量に対応できる暫定改修が終了している。揺木橋からわずき橋の区間1,300メートルの草刈りを行ったことで現況断面の横断測量することができるようになり流下能力を把握することが可能となった。今後も、年度中に河川の横断測量を行い、河道断面を阻害している土砂などのたい積物があれば河川環境に配慮しながら撤去やしゅんせつなどを実施していきたいとのことである。

また、水害解消のため鴨川橋の改修を本年11月から来年3月末を目途に工事に着手することになっている。なお、県との協議ではこの改修による鴨川下流域に及ぼす影響はないとの結果を得ている。

高すぎる水道メーター使用料の算出根拠は

問 新聞報道によると、東京都が発注する水道メーターの競争入札をめくり、繰り返し談合をしていたとして4社の幹部が逮捕された。そこで今回の事件に対する関係業者の処分について伺いたい。

また、水道メーターの単価に対して、市民が計量法に基づく8年の耐用年数に応じて払う金額が不当に高いが、その根拠を伺いたい。

答

東京都水道局が該当の4業者を指名停止にしたこと、また埼玉県公共工事契約業務連絡協議会からの情報などを受け、7月29日上尾市水道事業指名業者選定協議会に諮り、本年の8月4日から12月3日までの4か月間当該事業者を指名停止と決定したところである。

また水道メーター使用料の積算根拠については、メーターの購入単価、検定満期取り替え費用を加え、メーターの耐用年数8年で除して、これを補正したものが各口径ごとのメーター使用料である。

地頭方地域の基盤整備は

問 地頭方地域は、道路の幅が大変狭く、車のすれ違いができない状態である。また、排水の整備も十分されているとは言



住環境整備が望まれる地頭方地域

遠藤 朝子

- ・介護費用の負担軽減を
- ・小児救急医療体制の整備を早急に
- ・利用しやすいニューシャトルを

森島 岐代子

- ・非核平和都市宣言にふさわしい平和行政の推進を
- ・地頭方地域の区画整理
- ・障害児学童保育所、バナナキッズの建て替え

松本 清作

- ・斎場周辺の整備
- ・丸山団地入口の信号機設置
- ・中山道東側地区第一種市街地再開発事業のその後の経過

青少年問題

子ども教育

武藤 政春

- ・環境美化運動の推進
- ・パブリックマネジメントの具体策
- ・諸制度の見直し

蓮見 孝

- ・予算編成
- ・犯罪の防止

伊藤 美佐子

- ・子育て支援
- ・教育問題
- ・環境問題

熊谷 昇

- ・葬祭事業
- ・安全・安心のまちづくり
- ・住民基本台帳ネットワークシステム

えす多くの方々から住環境整備のための要望が寄せられている。

市と地元では区画整理事業について何年もの間、調査研究やアンケート調査なども実施していると聞いているが、この間の経過と今後の見通しについて伺いたい。

答

平成元年から基盤整備に始まり、平成13年度には権利者に区画整理事業の班別説明会を11回に分けて開催したが、出席率は低い結果に終わった。そこで、説明会と併せて区画整理についての意向確認のアンケート調査を実施して、現在その集計作業を行っているところである。

今後の予定は、安全で災害に強いまちづくりのために一体的整備が望ましいのか、別の整備手法が望ましいのか、アンケート調査の結果なども踏まえ基盤整備研究会において議論し、整備手法を含め今後の方針を早急に出していきたい。

環境・産業

私道への道路照明灯の設置を

問 昨今の凶悪犯罪の続発の中、安全な生活を維持していくため、市民から道路照明灯設

置の要望が大変高まっている。特に狭い道路では、街灯の数が減り歩くのに不安を感じている。この

ようなことから、私道を含めた狭い道路に道路照明灯の増設が緊急に必要であると考えている。

そこで、市が設置・管理する道路照明灯の定義と私道への設置についてのを考えを伺いたい。

答

市では原則として、公道上における夜間の道路状況や交通状況を図る目的で設置している。また、夜間には防犯効果を高め、明るい環境づくりに貢献できる街路灯・防犯灯であると考えている。

道路照明灯の設置については、今日まで公道を対象にしてきたが、今後安心で安全な明るいまちづくりを推進していく上では、私道への設置も必要なことと考えている。現在、111事務区に対し設置状



増設が望まれる道路照明灯

況や今後の計画などについて、アンケート調査を行い現状の把握に努めている。調査結果を集計し、各事務区の意向などを確認しながら設置について検討していきたいと考えている。

ごみ集積所の設置基準とカラス被害防止の対応は

問

今、市内のごみ集積所で、住民の増加により、ごみの量が増えて非常に管理が難しく、カラスの被害などもあり近隣に迷惑がかかっているところがあると聞いている。そこで、現在、集積所は市内に何か所あるのか、集積所の設置基準はどのようなものか伺いたい。また、カラス被害防止のためどのような対応をしているのか伺いたい。

答

ごみ集積所は、市民生活に欠かすことのできないスペースであり、現在市内に約3,500か所設けられている。この設置基準については、市開発行為等に関する指導要綱に基づき、戸建て住宅でおおむね15戸、共同住宅などではおおむね20戸に1か所の割合で設置する基準となっている。

カラス被害の防止に関しては、被害防止用ネットの無料貸し出しをしている。しかし、カラス被害防止には、ネット設置だけでは十

分ではなくごみの出し方の工夫など、市民一人ひとりがマナーを守ることによって被害を減少させることにつながると考えている。

今後、集積所の利用方法などを始め、ごみ収集に関するPRに努めていきたい。



カラス被害防止のためネットで覆われた集積所のごみ

上尾市斎場の特色は

問 長年の懸案事項であった斎場建設事業も完成の運びとなった。

そこで他の斎場と比較してどのような特色があるのか伺いたい。

答

上尾市斎場は、周囲の景観や自然と建物が一体となった施設づくり、将来の変化に対応した利用しやすい施設のほか水資源の活用、地域への配慮などを基本的な方針として、高木や中低

畠山 稔

- ・区画整理事業
- ・鴨川水害防止
- ・ドッグラン
- ・西口への図書館建設
- ・ゆりが丘公園整備

岩田 真智

- ・道路照明灯の定義と増設
- ・上尾村地域に公園とふれあいの森を
- ・知的障害者入所施設の支援費制度

鍵山 節子

- ・小・中学校の教室へ扇風機の設置など暑さ対策を
- ・校舎等の大規模改修
- ・西宮下中妻線の開通にともなう交通安全対策
- ・セクシユアル・ハラスメント問題

大出 武司

- ・本格稼動に入った住基ネット
- ・水道メーター製造業者の談合問題とメーターの積算根拠

☆詳しくは会議録やインターネットで

市議会では、定例会や臨時会ごとに「上尾市議会会議録」を発行しています。議案の審議内容や一般質問の内容など詳しくお知りになりたい人は、議会事務局、図書館、各支所・出張所、情報公開コーナーなどで閲覧できます。

⇒議会事務局 ☎775-9467

<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

木を植栽し、周囲からの景観に配慮した施設となっている。また、建物は自然と一体になるよう高さを抑え、丸みを強調し、外壁や内壁には天然のもので環境にやさしい珪土を使用している。遺族控室待合室、式場控室前には、気持ちをお和らげ心むような庭園を配慮している。そのほか式場や待合口ビームは床暖房となっている。また、火葬炉については再燃焼炉及び最新鋭の集じん装置を備え、公害対策に万全を期しているほか、資源活用として、雨水をトイレの洗浄水として再利用している。さらに、斎場の予約には、電話回線を使用し7日前より自動的に予約できるシステムを採用している。

斎場周辺の環境整備は

問 県産材を多く使って木の斎場が完成したが、周辺整備の取り組みについて伺いたい。

答 斎場周辺の整備については、平成9年12月に瓦葺古川耕地まちづくり研究会、また平成11年2月には、その支援組織として原市地区葬斎場建設推進協議会が発足し取り組んできた。その中で、斎場建設のほか、周囲の景観や周辺地域の環境整備、また県道からの進入道路の位置や幅員、



ランニング走路として整備された瓦葺中学校外周道路

施設案内表示などについて整備時期や手法の協議を行ってきたところである。

周辺地域の環境整備としては、瓦葺中学校の照明灯設置や中庭のグラウンド整備、正門の改修や防球ネットの整備、用務員宿舍の解体、植栽工事のほか、中学校の東側と北側の外周道路を全天候型のランニング走路としたほか、斎場入り口付近の住宅前道路の整備を行った。

また、県道からの進入道路については、信号機を設置、地点表示名設置のほか、中央分離帯を設け植栽と照明灯の設置を行い、防犯対策や施設誘導にも配慮した。今後の予定としては、瓦葺自治会館の建て替えのほか、(仮称)コミュニティ施設建設事業や道路拡幅事業計画など地域の方々とよく話し合いながら進めていきたいと考えている。

若者の就職難への支援は

問 深刻な若者の就職難への支援の中で、若者の相談窓口の設置について、3月議会で質問をしたところであるが、その後の進捗状況と、取り組みについて伺いたい。

答 若年者を取り巻く就職環境は、非常に厳しい状況が続いている。この背景には、企業の先行き不安感が払しょくされないことから、新規卒者の採用に対する慎重な姿勢が見られることや、企業の求める人材の高度化などにより雇用場が著しく減少している。また、若年者側の問題として、職業意識の希薄化や基礎的な能力不足などが挙げられる。そこで、若年者の就職活動支援については、大変重要な施策として



再就職を希望する人のパソコン教室(プラザ22)

ととらえ、就職支援セミナーの開催や上尾駅東口ワークプラザ、またプラザ22にインターネットを設置し、就職情報の提供に努めているところである。若年者の相談窓口の設置については、現在のワークプラザが手狭なため、各種職業紹介所の設置主体である大宮公共職業安定所や県などの関係機関と協議を重ね取り組んでいきたいと考えている。

環境美化運動の推進を

問 環境美化運動の推進については、各家庭での毎日の取り組み、目標設定と評価方式の導入をして継続的、組織的な運動ができればと思っている。そこで各家庭に対して環境保護や美化に関するアンケート調査が実施できるか。また今後市民の実践する活動をサイクル化させる方策について伺いたい。

答 循環型社会の構築とともに市民の意識を知り、今後の環境行政施策に生かす上でもアンケート調査の実施も一案かと思われるので今後検討していきたい。山口県柳井市は、今年度から実施した家庭版環境ISO「ハウス14001」で、各家庭が市に登録をする際、台所のごみ減量など50項目あるメニューの行動項目の

教育

小・中学校の教室に扇風機の設置を

問 今年の夏は冷夏といわれたが9月に入ってからからの残暑は厳しいものがあつた。現在、扇風機など暑さ対策のない小・中学校の教室では、耐え難いものがあると聞いている。

答 そこで、6月議会において教室への扇風機の設置について質問をしたところ、現地調査をした上で判断をしていきたいとの答弁であったが、その後の経過について伺いたい。

答 小・中学校の暑さ対策については、夏休み前後の7月と9月の2回にわたり気温の調査を実施した。学校ごとに北校舎、南校舎、西日の当たる部分などフロアごとに温度測定を行った。測定データは分析中ではあるが、学

中から5点選び、3か月間行動し、その後1年間継続的に活動した家庭には「環境ファミリー」の認定を与え、取り組みの継続とレベルアップを目標としている。このように継続し、組織的に輪を広げていくことが重要であり、今後このような方策を導入できるか研究していきたい。



市役所ギャラリーで開催された写真展

問 昨年私は、美術館、音楽ホールや博物館などを集めた総合的な上尾市の市民ミュージアムの建設を提唱したが、市総合計画に言われている「文化都市上尾」を創造するために、市はどのように取り組むのか考えを伺いたい。

答 市総合計画の中で文化・芸術団体などへの助成、展覧会や発表会の後援などの文化・芸術活動の推奨と施設などの整備推進を位置づけている。

今後、文化・芸術を振興するための基本的な方針や計画を策定する必要性、芸術団体など文化振興の推進者となる人材の育成をさらに図る必要があると考えている。また、文化芸術振興基金についても基金の基盤強化、活用を図り、貴重な基金を生かす運用を図っていききたい。

さらに文化・芸術振興に向けてのさまざまな条件整備を行い、文化都市のイメージアップを目指していきたい。

問 子育て支援が自治体の大きな課題となっている。その中でも重点課題として、命を守る医療の整備が挙げられる。

そこで、小児救急医療体制の整備に対する今後の見通しについて伺いたい。

答 現在、小児救急医療体制の整備に向けての調査及び関係機関などとの協議・調整を鋭意進めている。この体制の整備に

福祉・保健

小児救急医療体制の整備は

問 少子化が心配される中で、子育て支援が自治体の大きな課題となつている。その中でも重点課題として、命を守る医療の整備が挙げられる。

そこで、小児救急医療体制の整備に対する今後の見通しについて伺いたい。

答 現在、小児救急医療体制の整備に向けての調査及び関係機関などとの協議・調整を鋭意進めている。この体制の整備に

埼玉県の68歳、69歳対象の医療費助成制度の存続を

問 平成16年1月から埼玉県内の68歳、69歳対象の医療費助成制度が段階的に廃止されることとは高齢者にとつて負担が増えるだけである。新知事に対して、上尾市として制度の継続を求める要望を県に出していくべきではないかと思う。また、市が独自の制度として継続していく考えがあるかどうか伺いたい。

答 医療費助成制度は埼玉県の補助制度を受けて県内市町村が老人医療費支給事業として

幼保一元化に対する考えは

問 小泉首相は、さきの国会で幼保一元化を前倒ししてでも構造改革の一環として行つてよいと野党の質問に答えている。幼保一元化は、厚生労働省と文部科学省との所管の違いから、長く論じ合いながら進まない問題であった。今日保育所では、待機児童の増加により、各自自治体はいろいろな方法で対策を講じている。そこで、市では待機児童がどのくらいいるのか。また幼保一元化に対してどのように考えているのか伺いたい。

答 2、3年前から子供を保育所に預けて働きたいという人が急激に増えて、9月1日現在の待機児童は97人、保留児童は158人となっている。昨今の経済情勢が続く限り、保育所への入所希望は増えるものと予測している。

また幼保一元化については、幼稚園と保育所が異なる目的と役割を果たすため、それぞれの設置基準を満たす必要があり、幼稚園教諭免許と保育士資格の総合取得の促進、保育所の調理室必置義務の見直しなどの問題がある。

働く母親の増加に伴い、幼稚園における預かり保育の充実、保育所においては幼稚園と同様の幼児教育の実施などが求められている。すべての子供の健全な育成を図るため、市としても幼稚園と保育所の機能を生かし、利用者のニーズにこたえていくよう努力していきたいと考えている。

ついでには、診療場所や診療時間、また診療報酬等々の取り決め、さらに小児科医の不足に伴う初期救急への対応策及び2次救急医療機関の設定についての検討を含めた医師会や医療機関などとの調整、また県の中央地区第2次救急医療圏における同グループである伊奈町との調整などが重要な課題となっている。

全国的な小児科医の不足と多様化する医療ニーズのもと、次世代を担う子どもたちを健やかに、そして安心して育てられる環境を整備するために、今後も、積極的に関係機関との調整を図り、小児救急医療体制の早期実現に努めていきたい。

実施している。上尾市においても住民の老後における適切な医療の確保を図るため、老人に対し医療費の一部を支給することにより老人保健の向上に寄与し、老人福祉の増進を図ることを目的に条例を設置して対応してきた。

埼玉県のこの制度の改正の背景には財政問題があると思われる。本市においても今後特別会計への老人医療の繰入金と併せて財源支出の状況をよく見ておく必要があることから、他市町村の動向を見守りつつ検討していきたい。また、新知事に対して改正された同制度の見直しに対する新たな期待を寄せたい。

また幼保一元化については、幼稚園と保育所が異なる目的と役割を果たすため、それぞれの設置基準を満たす必要があり、幼稚園教諭免許と保育士資格の総合取得の促進、保育所の調理室必置義務の見直しなどの問題がある。

働く母親の増加に伴い、幼稚園における預かり保育の充実、保育所においては幼稚園と同様の幼児教育の実施などが求められている。すべての子供の健全な育成を図るため、市としても幼稚園と保育所の機能を生かし、利用者のニーズにこたえていくよう努力していきたいと考えている。



元気に遊ぶ幼児（小敷谷保育所）

傍聴席からひとこと



きたはら きたよこ
北原きよ子さん
(原市団地)

議会の一般質問を傍聴しましたが、自分が行政について知らないことが多いと感じました。これからは議会だよりや市の広報などもよく読もうと思います。また、

今回、高齢者の医療費助成制度の存続についての質問がありましたが、現在、家族の介護を行っており、自分のときはどうになってしまうのか不安に思っています。この制度の存続については、上尾市として、県に強く要望していただきたいと思ひます。

議会には何回か足を運んでいます。農家をやっているので地域のごみの不法投棄や犬のふんの問題に関心があります。犬のふんは半分くらいは持ち帰りますが放置したり、ちょっと土をかけただけの場合もあり困ります。



えのもと いさお
榎本 功さん
(中分)

議会のやり取りは質問・答弁がややパターン化しているので、もう少し質疑応答があると良いですね。傍聴席から直接質問したいと思うこともありますので、年に1度でもそのような場があるとよいと思ひます。

編集
後記

重大で衝撃的な少年犯罪が相次ぎ、子どもに対するいじめ、児童買春、虐待などが起こっていることに対して、多くの人が心を痛めています。

この根本には、リストラ、失業などにより家族のだんらんが失われていることや、競争至上主義の教育などにおけるゆがみや矛盾、他人を思いやるゆとりが失われていることなどがあると考へます。若者の就職難も将来の希望を閉ざす重大な問題です。未来を託す世代の危機は、そのまま国民全体の危機でもあります。暮らしを守る民主的なルールをつくるのが緊急の政治的課題となっており、政治の根本が問われています。(西村)

～議会報編集委員～

斉藤 隆志、野本 順一、田中元三郎、矢部 勝巳、伊藤美佐子、島山 稔、岩田 真智、西村テル子

- 「議会だより」は再生紙を使用しています -



文教経済常任委員会の川越市視察の様子

委員会活動

H15.7.16 H15.10.15



建設水道常任委員会の審査の様子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	9.8	● 9月定例会提出議案4件を審査
文教経済常任委員会	8.21 9.9	● 蔵、文化財のまちづくりについて視察(川越市) ● 9月定例会提出議案4件、請願1件、陳情1件を審査後、市内の墓地造成について調査
建設水道常任委員会	9.8	● 9月定例会提出議案8件、請願1件を審査
福祉消防常任委員会	9.9	● (仮)平方分署建設予定地を現地調査後、9月定例会提出議案5件を審査
議会運営委員会		● 議会運営及び議会活性化について協議(協議回数7回)
決算特別委員会	9.5 9.25 9.26 9.30 10.2	● 正・副委員長の互選及び審査方針の決定 ● 一般会計のうち歳入及び歳出(総務関係)について審査 ● 一般会計のうち歳出(総務、福消、文経関係)について審査 ● 一般会計のうち歳出(文経、建水関係)について審査 ● 財産に関する調書、特別会計について審査 ● 水道事業会計について審査 ● 総括
議会報編集委員会	7.20 9.19	● 「あげお議会だよりNo.121」の内容について協議 ● 「あげお議会だよりNo.122」の内容について協議

意見書5件を原案可決

9月定例会最終日の20日、議員提出議案として意見書5件を提出し、すべてを可決しました。

可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

犯罪防止のための治安対策の強化を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、国家公安委員会委員長、衆議院議長、参議院議長

高額療養費の返還(償還)制度の改善を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

携帯電話の利便性の向上と料金引き下げを求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

埼玉県68歳、69歳対象の医療費助成制度の存続を求める意見書

提出先 埼玉県知事

サイサンLPガス充てん基地建設に関する意見書

提出先 埼玉県知事

* 次回の12月定例会は、12月15日に開会の予定です。

傍聴など詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会ホームページアドレス

<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

開会中は、本会議のテレビ中継を市役所1階でご覧いただけます。